

平成14 年度

**教育の情報化推進のための
理事長・学長等会議
開 催 要 項**

日 時：平成 14 年 8 月 3 日(土)

会 場：慶應義塾大学(三田校舎、北館 2 階ホ - ル)
東京都港区三田 2 - 15 - 45
TEL : 03 - 3453 - 4511(代)

社団法人 私立大学情報教育協会

テ ー マ

情報技術(IT)を活用した教育改革に対する 大学の取り組み

開催趣旨

本協会の13年度実施の5万人による教員調査によれば、教育現場の問題として学生の基礎学力低下、コミュニケーション能力の不足が授業を進める上で大きな障害となっている。このような状況の中で、多くの教員はこれまでの「教える授業」から「学ぶ授業」への転換が極めて重要であるとしている。その工夫として、個々の学生と対話しながら授業を進めること、教室外での事前・事後学習の徹底、動機付教育の実施などが指摘されており、授業改善に向けての共通認識となってきた。この改善を進めるための一手段として、情報技術(IT)の活用がある。これまで困難であった学生とのインタラクティブな授業、チュートリアルな個別学習、学習意欲を惹起する授業などの実現に大きな効果が期待できるとともに、ニーズの高い教育プログラムを社会に提供して、開かれた大学としての役割を果たすことも期待されている。

今日、多くの大学が教育改革を標榜しているが、教員一人々の授業改善まで行き届いていないのが実情である。正に教育改革の成否は、教員による授業改善への取り組みが基本であり、自己改革に負う部分が大きい。それゆえに、授業改善を実現するための工夫と体制について、大学あげて対策を講じていくことが重要である。

本会議では、このような現状認識を踏まえつつ、大学における教育政策の面から、授業での情報技術活用の取り組みについて協議を行い、大学としての望ましい対応の在り方について考究する場としたい。

プログラム

1:00	会長挨拶 会場校挨拶	戸 高 敏 之 安 西 祐一郎 氏（慶應義塾塾長）
1:15	基調講演	「大学の教育・経営戦略としてのITの活用」 斎 藤 信 男 氏（慶應義塾常任理事）
2:00	休 憩	
2:10	事例発表	「ITを活用した授業改善モデルの紹介と課題」 事例1：ビデオ・オン・デマンドによる経済学の教室外授業 林 直 嗣 氏（法政大学経営学部教授） 事例2：サイバ - スペ - ス化した法情報学授業 笠 原 毅 彦 氏（桐蔭横浜大学法学部助教授） 事例3：教材の共同使用による物理学のシミュレ - ション授業 鈴 木 恒 則 氏（東海大学理学部教授） 事例4：ネットワ - クによる建築学の大学間講評授業 眞 鍋 信太郎 氏（東京工芸大学工学部教授）
3:20	休 憩	
3:40	全体討議	「教育へのIT活用のための教育政策と実施体制」 教育に情報技術を取り入れることを推奨している大学のポリシーと支援体制について報告を受け、大学としての教育政策の在り方、教育の情報化のための実施環境・体制について共通理解を深める。 大学の事例報告（早稲田大学、園田学園女子大学） 全体討議 決議
4:40	関連情報提供	「電子著作物権利処理代行事業の紹介」 「サイバ - ・キャンパス・コンソ - シアムの紹介」 「情報化投資額の実態と補助金の活用」
5:10	会場移動	
5:20	懇親会	
6:20	閉 会	

■ 参加対象

理事長、学長、理事、副学長（学長補佐）、学部長、教務部長（教員限定）、短期大学の学科長、ご本人とします。なお、ご本人以外に随員は2名まで参加できますが、ご本人が出席されない代理者のみの参加は対象としません。

■ 参 加 費

1名 10,500円

■ 申込方法

別紙申込用紙にて法人又は大学単位で一括して7月25日までに郵送又はFAXして下さい。なお、参加費は法人又は大学単位でまとめ、下記宛に7月31日までに振り込み下さい。

<振込先> あさひ銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409

名義人 （社）私情協

■ 会場への交通

JR山手線・京浜東北線「田町駅」下車、徒歩8分

地下鉄都営浅草線・都営三田線「三田駅」下車、徒歩7分

都営大江戸線「赤羽橋駅」下車、徒歩8分程度です。地図を参照下さい。

■ 送付先・問い合わせ

社団法人 私立大学情報教育協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4 - 1 - 14 No.1山崎ビル4階

TEL : 03 - 3261 - 2798 FAX : 03 - 3261 - 5473